

平成29年度春季岡山県高等学校軟式野球大会1回戦

2017年04月22日 岡山商科大学附属高校 VS 矢掛高校 @勝山球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
商大	0	0	0	1	0	2	1	1	0	5
矢掛	0	0	0	2	0	1	1	0	0	4

矢：福尾、三澤魁太一小池

文責：谷口 未来（普通科総合コース）

4年連続となる春季県大会の相手は、昨秋に引き分け再試合の末、敗れた岡山商科大学附属高校。矢掛高校の命運を託された先発は、三年生右腕の福尾（井原中）

- 1回表、商大附属高校の攻撃。初回から福尾の好投により三者凡退。
- 1回裏、矢掛高校の攻撃。一死から、大山（小北中）が四球で出塁するも、得点圏に走者を進められない。
- 2回表、商大附属高校の攻撃。先頭に右前打を放たれるも、遊ゴロ併殺とし、無失点。
- 3回裏、矢掛高校の攻撃。相手の西條投手の勢いのある直球に三者連続三振を奪われる。
- 4回表、商大附属高校の攻撃。一死から、失策と四球で一・二塁とされる。このピンチは次打者を三振で抑え、二死とする。しかし、次打者に中前打を放たれ1点を先制される。
- 4回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の大山が失策で出塁し小池（総社西中）が四球で出塁し、一死から福尾が進塁打を放ち二死二・三塁のチャンスを作る。このチャンスに、高見（小北中）の打球が失策となり2点を奪い逆転に成功する。
- 5回裏、矢掛高校の攻撃。一死から渡邊（矢掛中）が四球で出塁し相手投手のバークにより塁を進め、続く山崎（高屋中）が犠打を放ち二死三塁のチャンスを迎えるが、後続を抑えられる。
- 6回表、商大附属高校の攻撃。一死から死球を与えるも、次打者の左前ゴロを二塁に送り一死を奪う。左翼手：山室の好判断で福尾を盛り立てる。しかし、二死から中越二塁打を放たれ同点とされる。なんとか踏ん張りたところであったが、左前打を放たれ二死二・三塁のピンチとなる。さらに、失策で1点を勝ち越される。矢掛高校は逆転を許す苦しい展開。
- 6回裏、矢掛高校の攻撃。二死から山木（美星中）が失策により出塁しする。続く福尾が死球で出塁し、またも同点のチャンスを作る。ここで、1年生の代打：猪原（高屋中）が打席へ向かう。このチャンスに猪原が中前打を放ち、同点とする。猪原は1年生ながら思い切ったスイングが光った。
- 7回表、商大附属高校の攻撃。ここで矢掛高校投手の変更。三澤魁太がマウンドへ。先頭打者を失策により出塁され、進塁打で一死二塁。ここで、犠打が痛恨の悪送球となり1点を勝ち越される。
- 7回裏、矢掛高校の攻撃。二死から山崎（高屋中）、山室（美星中）、大山の三連打で同点とする。
- 8回表、商大附属高校の攻撃。先頭から内野安打と四球で無死一・二塁。一死から内野安打を放たれ満塁のピンチを迎える。ここで、右犠飛を放たれ勝ち越し点を奪われる。
- 8回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の大山が四球で出塁し、福尾・原（総社東中）が進塁打を放ち二死三塁のチャンスを迎えるも、次打者を内野フライで抑えられ、同点ならず。
- 9回表、商大附属高校の攻撃。先頭に四球で出塁され、犠打で得点圏に走者を背負う。ここは、三澤魁太が連続ゴロに打ち取り、最終回の攻撃に希望をつなぐ。
- 9回裏、矢掛高校の攻撃。一点を追う矢掛高校は、先頭に代打：花岡（木之子中）を送る。花岡は1年生ながら粘りをみせ、喰らいついた打球が悪送球となり無死二塁のチャンスをつくる。ここで、二塁走者に1年生の代走の中村（矢掛中）が送られる。ここで、代打の三澤亮太（真備東中）が打席へ。しかし、痛恨の三振を喫し、一死。山室の犠打で二死三塁とするが、この日適時打を放っている大山が、この日十個目の三振を奪われ、試合終了。

矢掛高校は商大附属高校に5—4で敗北した。春季県大会からの緊張から、今回の試合で失策が多く見られていた。普段通りのプレーを発揮することができず勝利に繋ぐことができなかった。勝負所で自分のプレーができるように日々の練習に取り組んでいきたい。チーム全体での声掛けが少なくなる場面も見られ、投手への声掛けや一つ一つことに集中する事が大切であると再認識させられた。明るい材料としては、一年生代打の猪原・花岡が活躍したことだろう。代走の中村も高校での初めての試合出場にも関わらず、落ち着いた走塁ができており、この先が楽しみである。二・三年生も今回の敗戦から多くのことを学んだのではないかと思う。この試合を通して学んだ事を夏の大会までに改善して勝ち進んでいきたい。一つでも多く勝ち進めるように、この悔しさを忘れずに頑張っていきたい。

新チームの戦績

12 勝 6 敗 2 分